



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 13> 平成30年3月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡 2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)
<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

明日を拓く意志

校長 今溝良司

先月は平昌オリンピックに関係する報道が日々の話題になるほどの盛り上がりを見せ、日本にとっては冬季五輪最高のメダル獲得の大会になりました。スピードスケートの小平奈緒選手、高木美帆選手、団体パシュートでの高木菜那・美帆姉妹、佐藤綾乃選手、菊池彩花選手の活躍、フィギュアスケートの羽生結弦選手・宇野昌磨選手のワンツーフィニッシュ、スノーボードの平野歩夢選手やスキー複合の渡部暁斗選手、カーリングでのチームワークあふれる活躍、やっとなメダルに届いた女子スキージャンプの高梨沙羅選手などの活躍には、それまでの努力や仲間や家族の協力などのストーリーも加わり、さらに功績を讃える日々が続きました。

ところで、白幡中の卒業生の中にも冬季オリンピックに参加した先輩がいることをご存知でしょうか。30年前の1988年カナダ・カルガリーオリンピックのショートトラック（当時は公開競技）女子のリレーメンバーとして木下真理子さんが出場され、銀メダルを獲得しました。日本のショートトラックの草分け的な存在となった方だったことを記憶しています。

3年生には本日・明日と県公立高校の入学試験を迎える生徒がたくさんいます。皆さんを囲み支えてくれる家族や先輩はほとんどの人が経験してきたことです。誰でも初めてのことには緊張したり不安になったりしますが、この試練を乗り越えればステップアップし成長することでしょう。私たちは人生の中で何度か、どうしようもない程厳しく堪らなく辛い場面に遭遇したり、積み重ねてきたことが見事に花を咲かせ、幸せいっぱいを感じたりすることがあります。今回のように自分が選んだ上級学校を受検（験）するために「願書を作成・提出し試験を受ける」ということは、紛れもなく自分で次の世界を切り拓こうとする意志の現れです。この「自分の意志」というものが、これからもとても大切になります。自分の行動は、自分の意志によるものです。だから責任があるのです。その責任をひとつずつ果たすことがその人を造り、自分以外の人に信用・信頼・安心などの感情を抱かせます。今回は高校をはじめ上級学校受験を例に挙げ

ましたが、何も大きなことではなく、日常の何気ない行動にも同じことが言えるでしょう。元気なあいさつ、隅々まで膝をついて雑巾がけする清掃、チャイム着席、専門委員会や実行委員会での活躍、懸命に取り組む授業や部活動、大きな行事の成功等々、決して一人では為し得ないことをみんなの理解や協力によって、一人ひとりがしっかりと行動がとれる白幡中生ですからきっと「自分の意志」を強く持ち続けるでしょう。

年度末にあたり、一言御礼を申し上げます。保護者の皆様には学校評価に係る返信票のご協力をいただきありがとうございました。いただいたご意見等は学校評議委員会でも話題提供しました。今後とも改善・改良の視点に立ち取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。